

平成 26 年 2 月 16 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時 愛餐会・バレンタインお楽しみ会

司 会 : 片岡洋一兄
奏 楽 : 米田 香 姉
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 233 「驚くばかりの」 1. 2. 4 節
十 戒
聖 書 : マタイによる福音書 6 章 33 ~ 34 節 (P.9)
(朗読: 大神久美姉)
音 楽 : 特別映像
メッセージ : 「きみのために作られた歌」 倉知 契牧師
さんびと 献金 : ♪ 聖歌 656 「感謝します」
頌 栄 : ♪ ハレルヤ(B♭)
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ オープン・キャンパスならぬオープン礼拝(ミサ)に歓迎します！
お昼ご飯のあと、チョコパーティを楽しみましょう。
- ◇ 来週2/23、教会員は年に一度の教会総会(1時半~2時)。
- ◇ 3/30(日)は持ち寄り音楽会PartⅢ、あなたも出演できます！
- ◇ せとものがたり2(チラン)をお読みください、お用ください。

- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 A コース: マタイ 25 章~28 章 Bコース: レビ記 7 章~21 章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年2月23日] [教会総会][献児式]
[司会: 片岡洋一兄、いのり: 持田樹理姉、聖書朗読: 平松友子姉]
[ピアノ&リード: 倉知契牧師、アシスト: 大神 雄兄、加藤由美子姉]
[献金: 太田昌子姉、受付: 加藤和代姉]
◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 持田樹理姉



平和の基本は、オンリーワンです。他人と比べるのではなく、お互いの違いを大切に。ひとりひとりの人生をより輝かすこと。オンリーワンから平和が生まれるのです。

そう語るのは、沖縄出身、盲目のテナー歌手、新垣勉牧師。生まれてすぐ、助産婦から家畜を洗う薬を点眼され、失明。幼い頃、自分だけのもが見えていないということを知ったのは、友達と遊んでいたときでした。飛行機の音がして、「あっ、飛行機だ」とある子が言いましたが、自分には見えなかったそうです。アメリカ人の父親は彼を捨てて帰国。母親は視覚障害の子どもがいては再婚できないと彼を祖母に預けます。ドラマのような話ですが、年の離れた姉と思っていた人が実は母だったと、知ったとき「なぜ、目が見えなくなったときに殺してくれなかったのか」「そうであればこんなにも苦しい思いをしなくてすんだのに」と訴えたそうです。母はただただ泣くだけでした、と著書『ひとつのいのちささえることば』に書いています。比べたり、比べられたりする人生の呻きや叫びから届けられる新垣先生の「オンリーワン」には特別な輝きがあるように思いました。

沖縄戦で戦死した人々が眠るさとうきび畑。そこに吹く風の音「ざわわ」から故・寺島尚彦氏が作詞作曲した「さとうきび畑」は新垣先生の大切なレパートリー。「平和はイデオロギーによってもたらせるものではありません。ひとり一人の足もとから平和を願うことが大切です」と、その通り。キリストも『平和をつくり出す人(peace maker)は幸いです』(マタイ5の9)と語りましたが、どんな小さなことでも平和のお役に立てたなら、幸いな人生と言えるのではないのでしょうか。

さとうきびは甘くても、さとうきび畑の歌には苦い歴史があります。今日はバレンタインを記念したオープン礼拝(ミサ)。オンリーワンのあなたに届けたい神の片想いの愛。苦い十字架の道も甘んじてくださった方のとろける愛と、本物の平和を、少しでも体験して頂けたらこれ以上の喜びはありません。

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

「一日一日を力いっぱい生き抜きなさい。」
(マタイ六の三十四、B.)